

<b>第1章 趣旨</b>	<p><b>(目的)</b>                  “持続可能な水道”の実現に向け、国等の施策の方向性と経営戦略2019の進捗を踏まえ「施設更新事業の着実な推進」のため経営計画を見直した”経営戦略2019 2024改定版”とする。</p>	<p><b>(位置づけ)</b>                  ①「新水道ビジョン(厚生労働省)」及び「経営戦略(総務省)」に対応                  ②「経営戦略の改定推進について(総務省)」に基づき経営計画を中心に改定                  ③施設更新実施計画、設備保守計画、水質検査計画等の上位計画</p>	<p><b>(計画期間)</b>                  2024(R6)年度～2028(R10)年度の5年間</p>
---------------	---	---	--

第2章 事業の沿革と概況	
1 経緯と沿革	(1) 経緯 (2) 沿革
2 概況	(1) 用水供給事業 (2) 施設・設備 (3) 用水供給料金 (4) 組織
3 これまでの主な経営健全化の取組	(1) 経費削減 (2) 官民連携

第3章 経営環境の現状と見通し	
1 国の動き	水道整備 管理行政の移管ほか
2 経営戦略2019行動計画の検証	行動目標の進捗状況等ほか
3 水源と利水	水需要 水利権の更新ほか
4 水管理	水源水質 水安全計画ほか
5 施設更新実施計画	実施計画の内容ほか
6 施設管理	取水施設 浄水施設ほか
7 組織・体制	運営体制 事業継続
8 財政	収益的収支 経営指標ほか
9 地域社会との共生・環境との調和	交流・情報発信 環境との調和
10 連携	榛南水道との事業統合 官民連携ほか

第4章 ビジョンと戦略																									
1 ビジョン — 将来に向けた根本的な方向性 —																									
基本理念	地域とともに、 信頼を未来につなぐ大井川広域水道																								
活動指針	5つの価値観の実践 ①公営企業 ②ライフライン ③広域団体 ④水道の専門集団 ⑤大井川流域の一員																								
理想像	<b>持続可能な水道</b> ・水道サービスの持続 ・地域社会に貢献する水道																								
↓																									
2 経営戦略(2024-2028) — ビジョンを実現するための取組方針 —																									
経営テーマ	<p style="text-align: center;">☛ <b>用水の安定供給強化に向けた施設更新事業の着実な推進</b></p> ビジョンの基本理念、活動指針、理想像を実現するため、持続可能な事業運営や地域・官民等の連携推進を図り、サービス基盤である水道用水の安定供給強化に資する施設更新事業を着実に推進する。																								
経営目標	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>安全</td> <td>強靱</td> <td>持続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>重要 ←</td> <td></td> <td>→ 必要</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #add8e6;">I</td> <td style="background-color: #add8e6;">サービス基盤</td> <td style="background-color: #9370db;">II</td> <td style="background-color: #9370db;">経営基盤</td> </tr> <tr> <td></td> <td>用水供給の安定と最適化</td> <td></td> <td>持続可能な事業運営</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #9370db;">III</td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #9370db;">連携基盤</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>地域や官民等の連携推進</td> </tr> </table>		安全	強靱	持続		重要 ←		→ 必要	I	サービス基盤	II	経営基盤		用水供給の安定と最適化		持続可能な事業運営	III			連携基盤				地域や官民等の連携推進
	安全	強靱	持続																						
	重要 ←		→ 必要																						
I	サービス基盤	II	経営基盤																						
	用水供給の安定と最適化		持続可能な事業運営																						
III			連携基盤																						
			地域や官民等の連携推進																						
「最重要戦略」推進プロジェクト																									
計画期間における経営テーマと経営目標を達成するため、関連性の高い「施設更新事業の推進」「持続可能な財政運営」「官民連携による民間技術の活用」を「最重要戦略」と位置付け、総合的に推進する。																									

第5章 経営計画(行動計画)			
経営目標を達成するため、各戦略の諸施策の中から計画期間における重点施策を抽出し行動計画とする。 <span style="color: red;">推進PJ</span> = 「最重要戦略」推進プロジェクト			
基盤	戦略名	重点施策	取組内容
I サービス基盤	戦略1 流域と連携した水源の確保	水利権の更新	水源の確保のため、受水団体の水需要動向を考慮し関係機関との調整を進め、水利権許可更新を得ます。
	戦略2 安心で安全な水道用水の供給	適切な水質管理の維持とリスク対応	「水質検査計画」を着実に実行し、受水点までの安心で安全な水質管理を行います。また、「水安全計画」に基づき水質変化や浄水処理のリスク対応のため水質危機管理を実施します。
	戦略3 施設更新事業の推進	施設更新事業の着実な推進	施設更新事業を着実に推進し、耐震化率の向上や既存施設の課題解消、施設規模の適正化を進めます。また、環境への配慮や施設の長寿命化、コスト削減のため、定期的に見直しをします。
	戦略4 設備の適正な維持管理	設備保守計画(更新計画)の履行	点検頻度や修繕方法の見直しを行い、設備の機能維持と長寿命化を図ります。また、設備の更新は、機能向上、コスト削減、新技術の導入を図ります。
II 経営基盤	戦略5 持続可能な体制の整備	持続可能な運営体制の構築と人材(財)育成	施設更新事業を着実に推進するため、効率的な運営体制の構築と職員個々の知識・技術の向上を図る人材(財)育成を実施します。
	戦略6 持続可能な財政運営	安定経営の維持と施設更新財源の確保	施設更新事業を着実に推進するため、適正な料金設定による安定経営の維持と柔軟な財政運営により負担軽減や適正な内部留保資金を確保し、将来の施設更新等に備えます。
	戦略7 地域社会との共生	水道事業への理解の促進	安心で安全な水道用水を安定的に供給するため、小学校等の施設見学や、関係機関との連携、地域への丁寧な説明を通して水道の大切さや施設更新事業の理解を深めます。
III 連携基盤	戦略8 環境との調和	再生可能エネルギーと環境負荷軽減機器の導入	位置エネルギーを活用した小水力発電などの再生可能エネルギーや排出ガスを低減できる電気自動車を導入し、脱炭素を推進します。
	戦略9 地域連携による水道広域化	榛南水道統合事業の推進	県水道広域化推進プランに基づく大井川広域と榛南水道の事業統合により、水道基盤の強化や経営の合理化が図られることから、連結管整備等を推進します。
	戦略10 官民連携による民間技術の活用	官民連携による水道事業の推進	民間企業の持つノウハウを積極的に導入することにより人材不足の解消や、工事期間短縮等の効果が期待できる官民連携手法を導入した発注方法の検討をします。
	戦略11 DX等の導入	DXの導入検討	業務の最適化や課題解消のため、DX等の導入可能性調査を実施します。

第6章 経営計画(投資・財政計画)	
長期にわたる投資・財源試算	
投資試算 ・施設更新事業と設備保守計画の確実な履行	
財源試算 ・将来を見据えた適正な料金収入の確保 ・安定経営を支える内部留保資金の確保	
↓	
5年間の財政収支見通しと 主な経営指標を作成	

